

- 技術仕様の取りまとめに当たっては、第1回技術検討会議において決定された以下の6方針に基づき実施

方針1

想定している6サービス（現在位置案内、施設情報提供、経路探索、移動案内、注意喚起、緊急情報）を適切に実現できるかという観点から、システム、構成機器等に要求される機能や性能を明確にしていく。

方針2

方針1に基づき示された要求される機能や性能に照らして、一定の実用性が確認された手法（システム、構成機器等）を記載する。ただし、現段階で実用性が確認されなかった手法について、将来、実用性が高いものについては、その旨を積極的に記載することとする。

方針3

利用者の利便性、システムの円滑な運用・発展のため、共通化が望ましい必要最低限の事項については、共通ルールを設定する。

方針4

自由な技術開発が可能な部分については、細かい仕様を限定せず、現場での創意工夫、競争的発展を促すよう配慮する。

方針5

サービス提供上の技術的課題を有する場合は、それらを明示する。また、必要に応じ、利用上の留意点の明示、サービスの段階的拡大、継続的なモニタリングの実施といった柔軟かつ現実的な対応策を示していく。

方針6

現在の関連プロジェクトにおける技術開発や国際標準化、国内外の関連規格との動向を踏まえて仕様を策定する。